

令和4年度

## 女性職員対象のアンケート調査結果

海老名市  
市長室女性活躍担当

◇目 次

概要等 .....	3ページ
設問ごとの回答状況、分析・考察 .....	4～19ページ

## ■目的

女性職員のキャリア形成上の課題解決や、不安・悩みの解消（緩和）を支援し、職員個人の成長をサポートする事業の推進に向けた、職員意識の把握。

## ■実施期間

令和4年6月6日～24日

## ■対象

市役所正規女性職員（任期付き職員を除く）、305人（管理職48人、非管理職257人）

## ■有効回答者数・回答率

214人（回答率70.2%）、管理職33人（同68.8%）、非管理職181人（70.4%）

## ■結果の概要

回答者全体の73%が「女性が活躍できる環境である（「どちらかといえばそう思う」を含む）」と認識しており、76%が「自分の能力を発揮できる仕事や機会を与えられている（同）」と回答している。また、管理職登用が「進んでいる（同）」との回答は41%だった。

昇進の希望については、「昇進したくない（同）」は全体の28%で、7割強は昇進することに否定的ではなかった。

働きがいやモチベーションを高めるために重要視していることの上位2項目は、「職場の雰囲気」「仕事とプライベートの両立」だった。

## ■総括

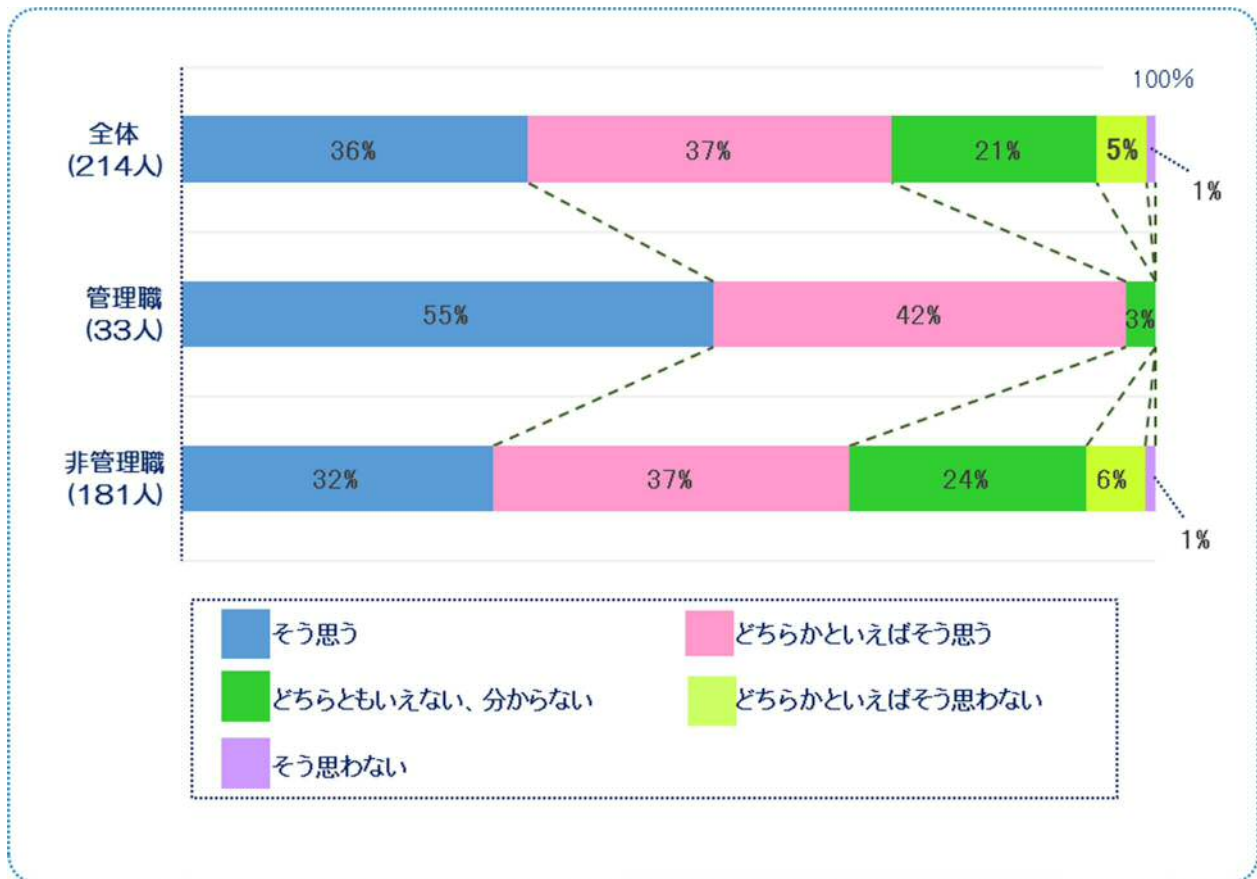
今回のアンケート調査から、市役所は、女性職員にとって、おおむね働きやすい環境であると認識されていることが分かった。

今後は、国が推進している自治体DXの進捗状況に留意するとともに、先進自治体の取組事例を確認しつつ、

- (1) 「業務見直しの推進」「長時間時間外勤務の解消」「フレックス勤務等、柔軟な勤務形態の導入・活用促進」など、仕組み・制度の見直しと充実
- (2) 「職場の雰囲気」「上司の理解」「家族の理解と協力」など、良好な人間関係の構築に関し、市としての取り組み方を検討していく必要がある。

【設問1】

現在のあなたの所属は、女性が活躍できる(十分に能力を発揮して働ける)環境だと思いますか。



【回答の状況】

- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、全体で73%と7割を超えている。
- 管理職、非管理職別で見ると、管理職は97%、非管理職は69%となった。

【設問2】

設問1で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。 ※複数選択可

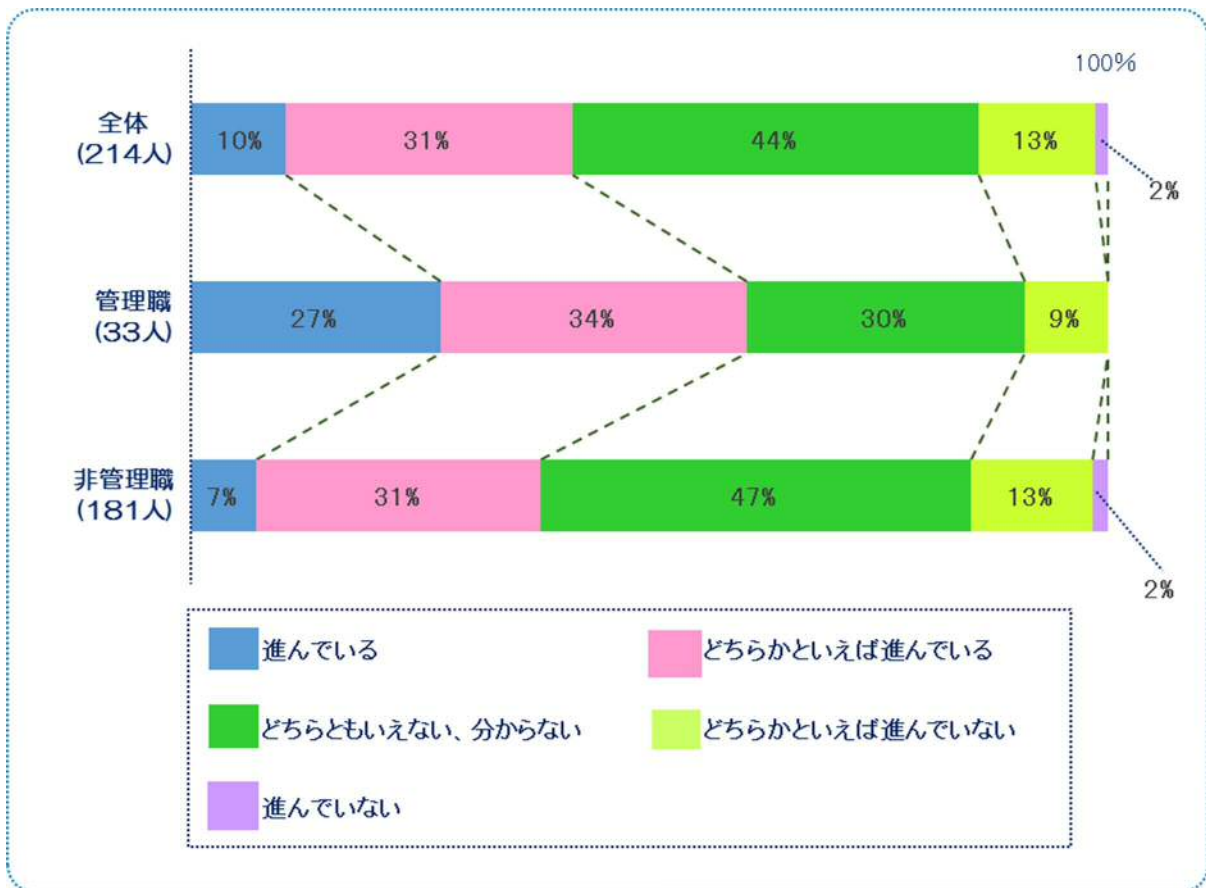


【回答の状況】

- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答したのは非管理職の13人で、その理由で最も多かったのは、「恒常的時間外勤務・休日勤務」の61.5%となった。

【設問3】

市の女性職員の管理職登用について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

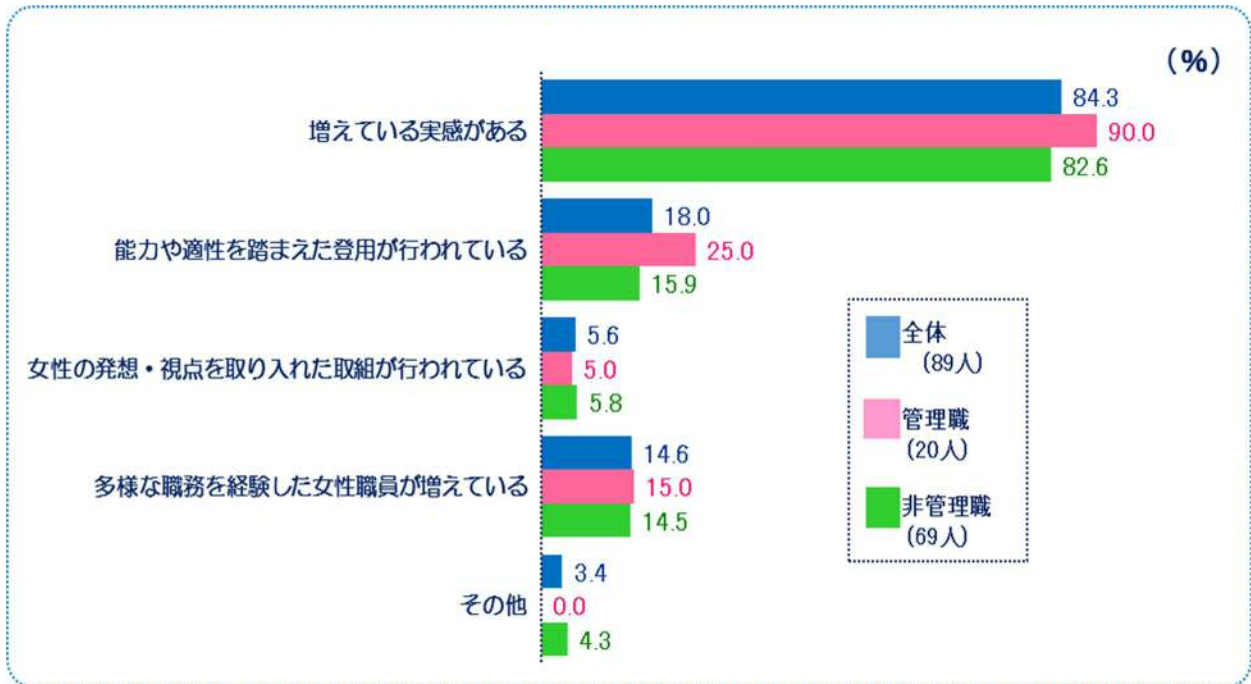


【回答の状況】

- 「進んでいる」「どちらかといえば進んでいる」の合計は、全体で41%となった。
- 管理職、非管理職別で見ると、管理職は61%、非管理職は38%となった。

【設問4】

設問3で「進んでいると思う」「どちらかといえば進んでいると思う」と回答した理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。 ※複数選択可



【回答の状況】

- 女性管理職の登用が進んでいると回答した理由は「増えている実感がある」が全体、管理職、非管理職ともに1位となった。
- 全体、管理職、非管理職ともに 2位は「能力や適性を踏まえた登用が行われている」、3位は「多様な職務を経験した女性職員が増えている」、4位が「女性の発想・視点を取り入れた取組が行われている」となった。

【設問5】

設問3で「どちらかといえば進んでいないと思う」「進んでいないと思う」と回答した理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。 ※複数選択可



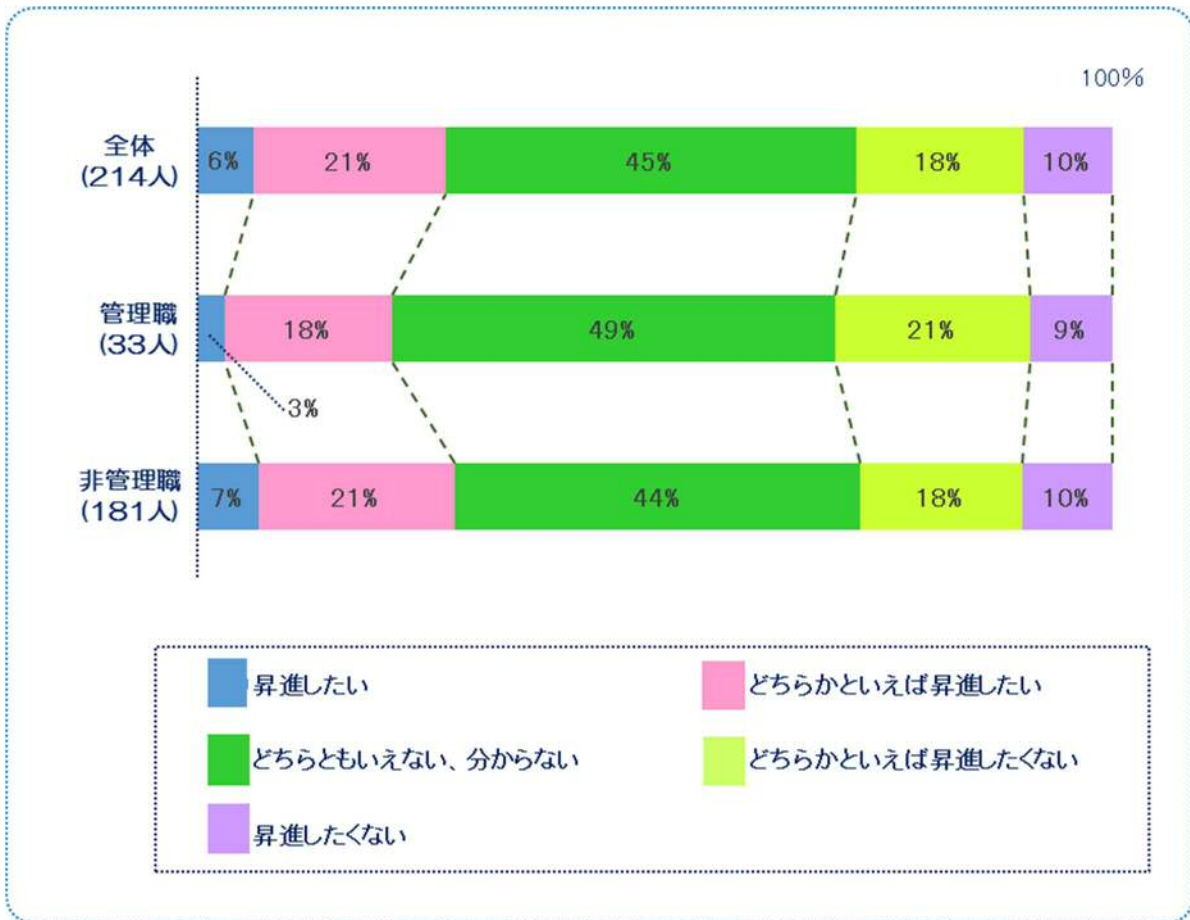
【回答の状況】

- 全体では、56.7%、非管理職では 59.3%が「能力があっても家庭の事情等で管理職につけない」を選択している。
- 非管理職の1位は「能力があっても家庭の事情等で管理職につけない」2位が「増えている実感がない」、3位は「その他」(7人)となった。



【設問6】

昇進について、あなたの意向に近いものを1つ選んでください。

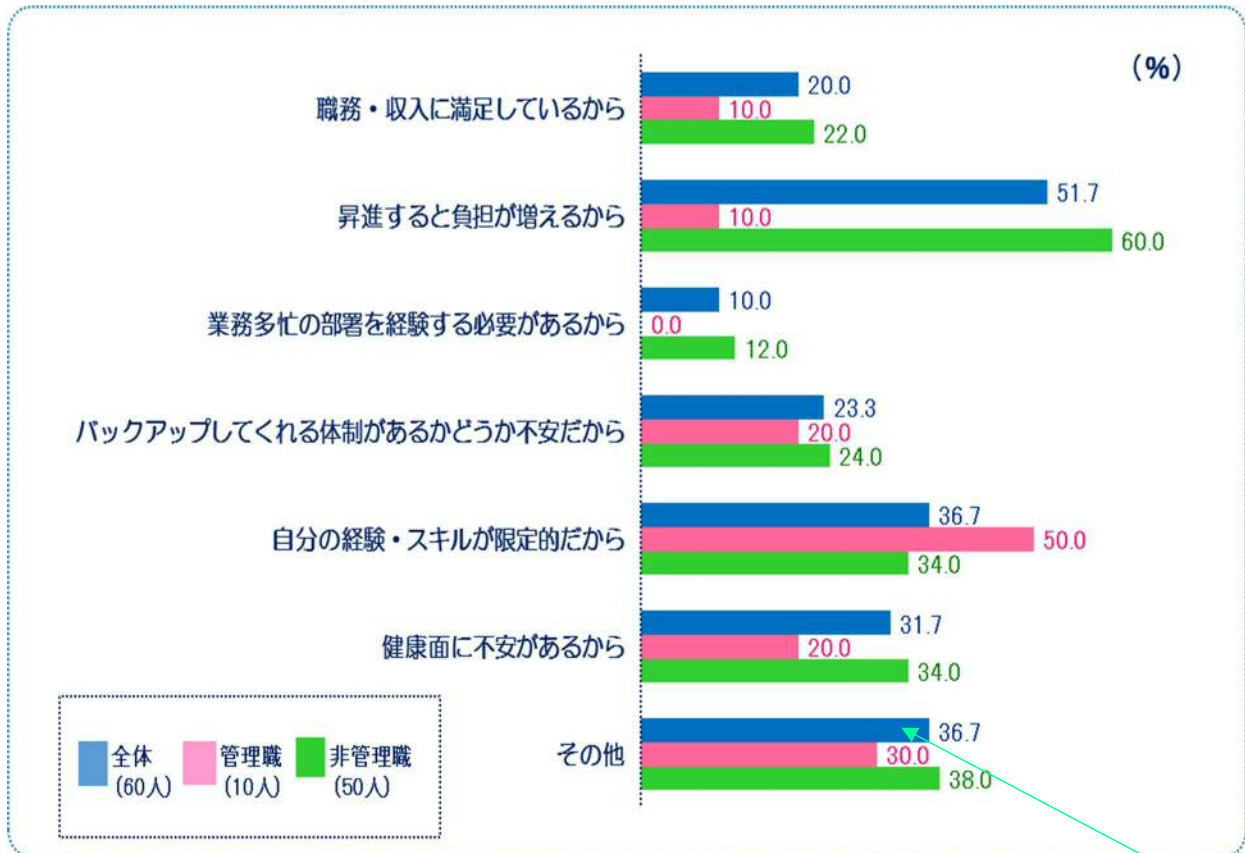


【回答の状況】

- 「昇進したい」「どちらかといえば昇進したい」は、全体で 27%、管理職で 21%、非管理職で 28%となった。
- 「昇進したくない」「どちらかといえば昇進したくない」は、全体で 28%、管理職で 30%、非管理職は 28%となった。
- 「どちらともいえない、分からない」はいずれも5割弱となった。

【設問7】

設問6で「どちらかといえば昇進したくない」「昇進したくない」と回答した理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。 ※複数選択可



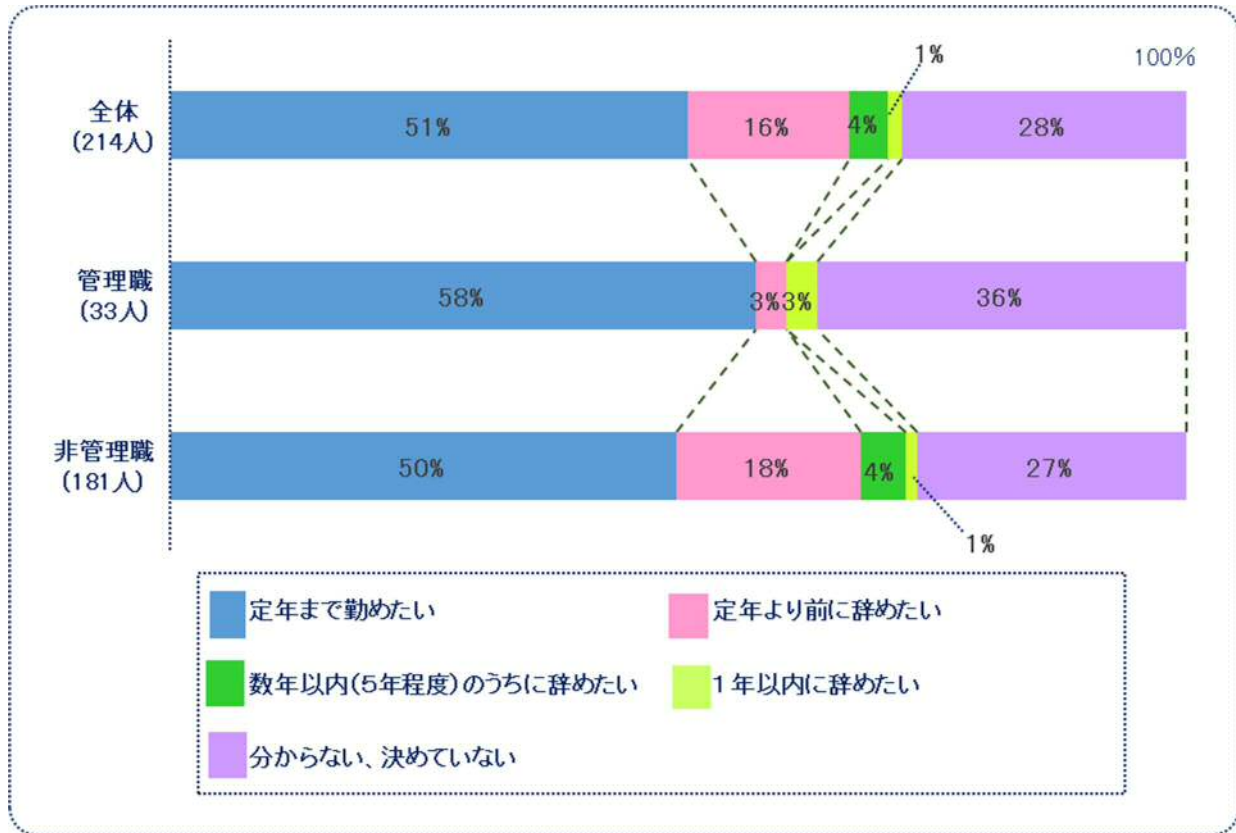
- 【その他（自由意見）22件・主な内容】
- 自身の能力に自信がない
  - 責任を負いたくない
  - 管理職の仕事に魅力を感じない
  - 家庭生活との両立が難しい（家庭に負担がかかる） ほか

【回答の状況】

- 「どちらかといえば昇進したくない」「昇進したくない」と回答した理由のうち、最も多かった項目は、管理職では「自分の経験・スキルが限定的だから」、非管理職では「昇進すると負担が増えるから」となった。
- 「昇進すると負担が増えるから」は管理職で10%、非管理職は60%となった。

【設問8】

あなたは今後も継続して海老名市役所に勤務したいと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

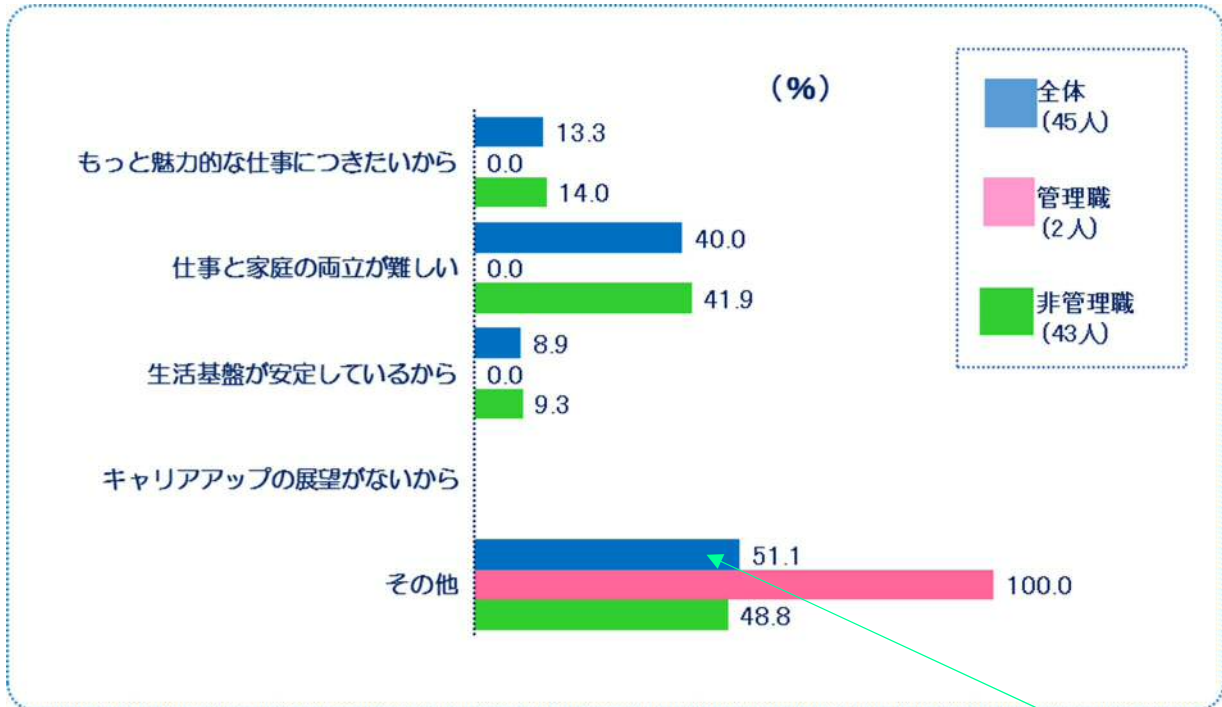


【回答の状況】

- 「定年まで勤めたい」と回答したのは、全体で51%、管理職は58%、非管理職は50%となった。
- 「定年より前に辞めたい」「数年以内のうちに辞めたい」「1年以内に辞めたい」と回答したのは、全体で21%、管理職で6%、非管理職で23%となった。

【設問9】

設問8で「定年より前に辞めたい」「数年以内（5年程度）のうちに辞めたい」「1年以内に辞めたい」と回答した理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。 ※複数選択可



【その他（自由意見）23件・主な内容】

- 自分の時間がほしい
- 体力や健康面で自信がない
- 精神的にきつい
- 定年後の人生のスタートが遅くなる
- 自分の努力が評価されない

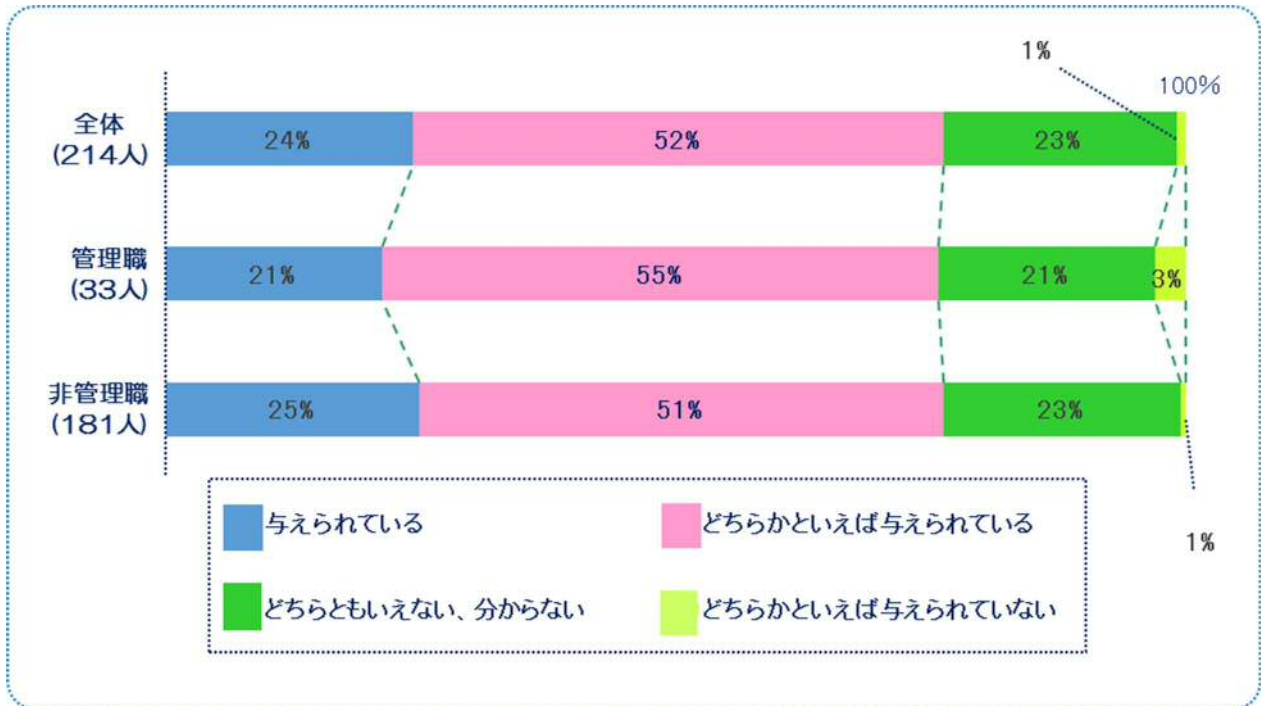
ほか

【回答の状況】

- 「定年より前に辞めたい」理由は、「その他」への記載が最多となった。また、非管理職で2番目に多かったのは「仕事と家庭の両立が難しい」となった。
- 自由意見では、定年延長を見据えて「体力・気力に余裕のあるうちに、自分の時間を多く持ちたい」といった内容が散見された。

【設問 10】

あなたは自分の能力を十分に発揮できるような仕事・機会を与えられていると思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

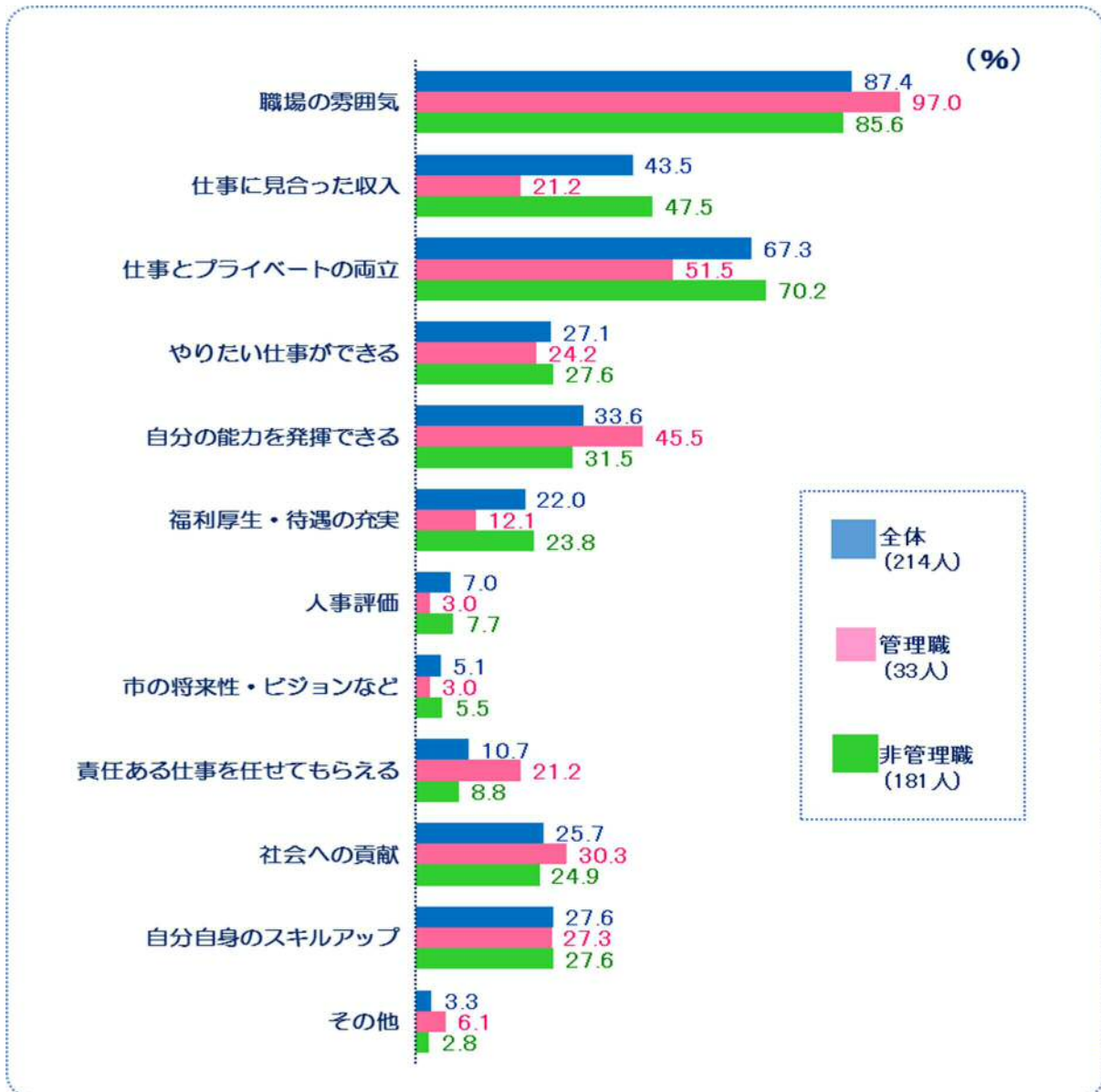


【回答の状況】

- 「与えられている」「どちらかといえば与えられている」と回答したのは、全体、管理職、非管理職ともに76%となった。

【設問 11】

あなたが、職場での働きがい・やりがい・モチベーションを高めるために重要視しているのは次のうちどれですか。 ※複数選択可

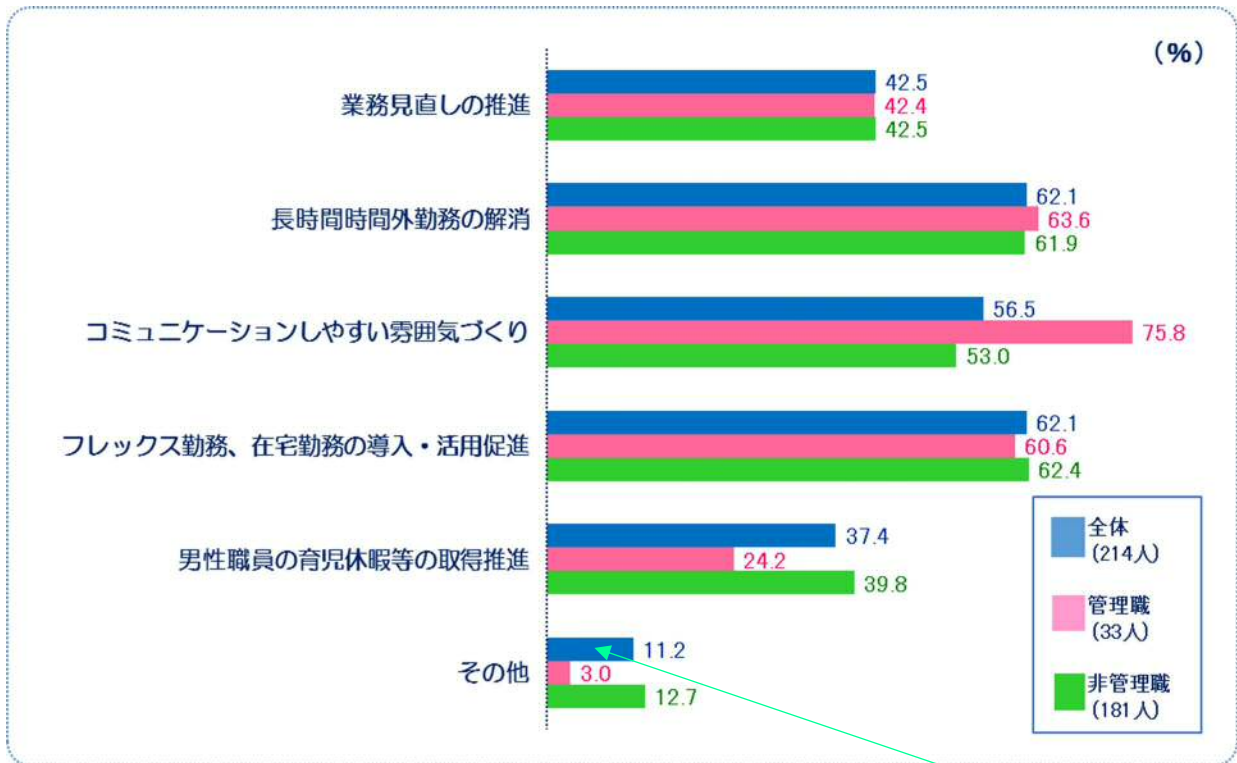


【回答の状況】

- 働きがいなどを高めるために重要視しているのは、全体では1位「職場の雰囲気」2位「仕事とプライベートの両立」3位「仕事に見合った収入」、管理職では1位「職場の雰囲気」「2位「仕事とプライベートの両立」3位「自分の能力を発揮できる」、非管理職では1位「職場の雰囲気」2位「仕事とプライベートの両立」3位「仕事に見合った収入」となった。
- 非管理職では「仕事に見合った収入」が3位であるが、管理職は7位で、管理職の3位は「自分の能力を発揮できる」となった。

【設問 12】

男女がともに仕事と家庭を両立させ、その能力を十分に発揮できる職場づくりをするためには、どのような取組が重要と考えますか。あなたの考えに近いものを選んでください。※複数選択可



【その他（自由意見）24件・主な内容】

- 人員の確保（人手が不足している）
- 勤務体系の見直し（時短勤務・フレックス勤務の充実、在宅勤務の導入）
- 周囲の理解、意識改革（サービス残業をよしとする風潮の見直しなど） ほか

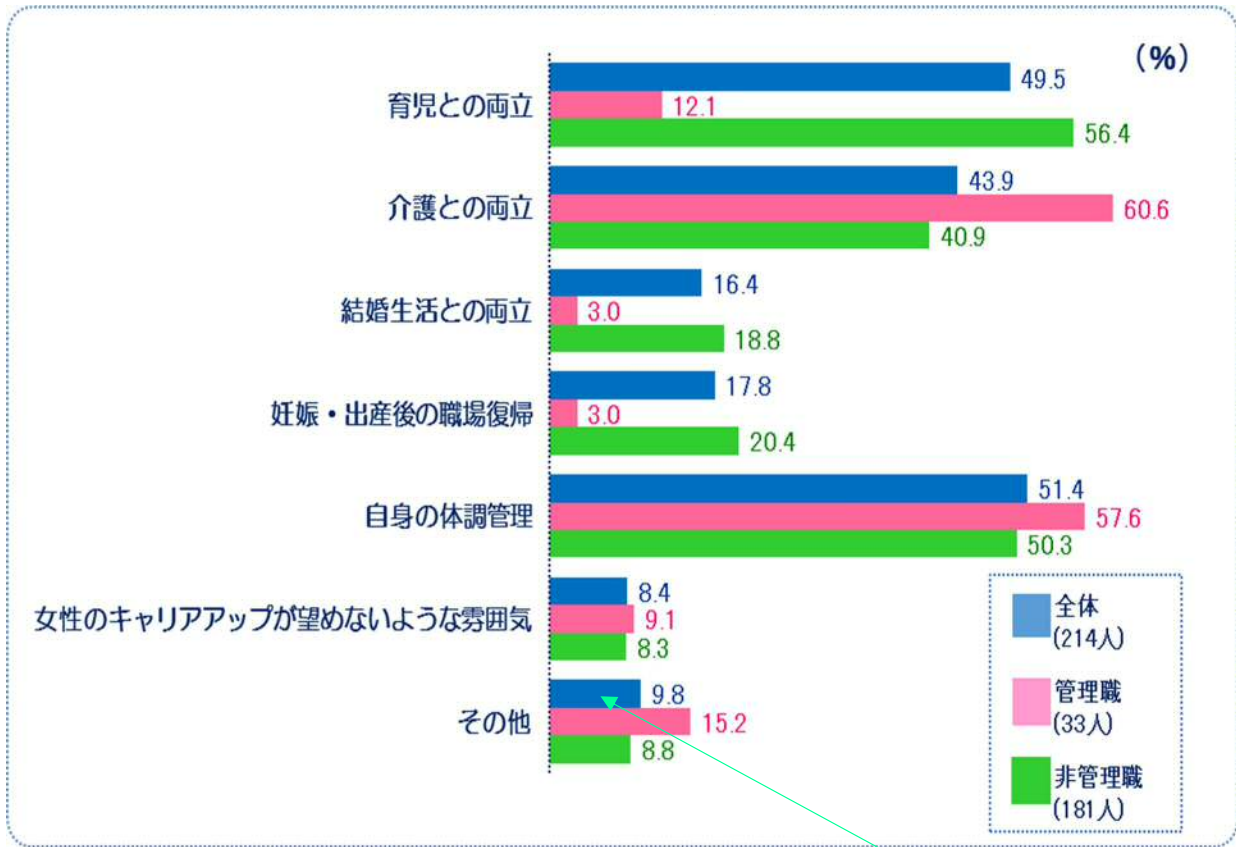
【回答の状況】

- 全体では「長時間時間外勤務の解消」と「フレックス勤務、在宅勤務の導入・活用促進」が同率1位、「コミュニケーションしやすい雰囲気づくり」が3位となった。
- 管理職の1位は「コミュニケーションしやすい雰囲気づくり」、2位は「長時間時間外勤務の解消」、3位は「フレックス勤務、在宅勤務の導入・活用促進」となった。
- 非管理職では1位が「フレックス勤務、在宅勤務の導入・活用促進」、2位が「長時間時間外勤務の解消」、3位が「コミュニケーションしやすい雰囲気づくり」となった。

【設問 13】

あなたが「働きがい」をもって働き続ける中で、不安なことは次のうちどれですか。

※複数選択可



【その他（自由意見）21件・主な内容】

- 職務に見合った能力が備わっていない
  - 慢性的に時間外勤務が必要
  - 業務量が増加していく
  - 時短制度の対象外となること
- ほか

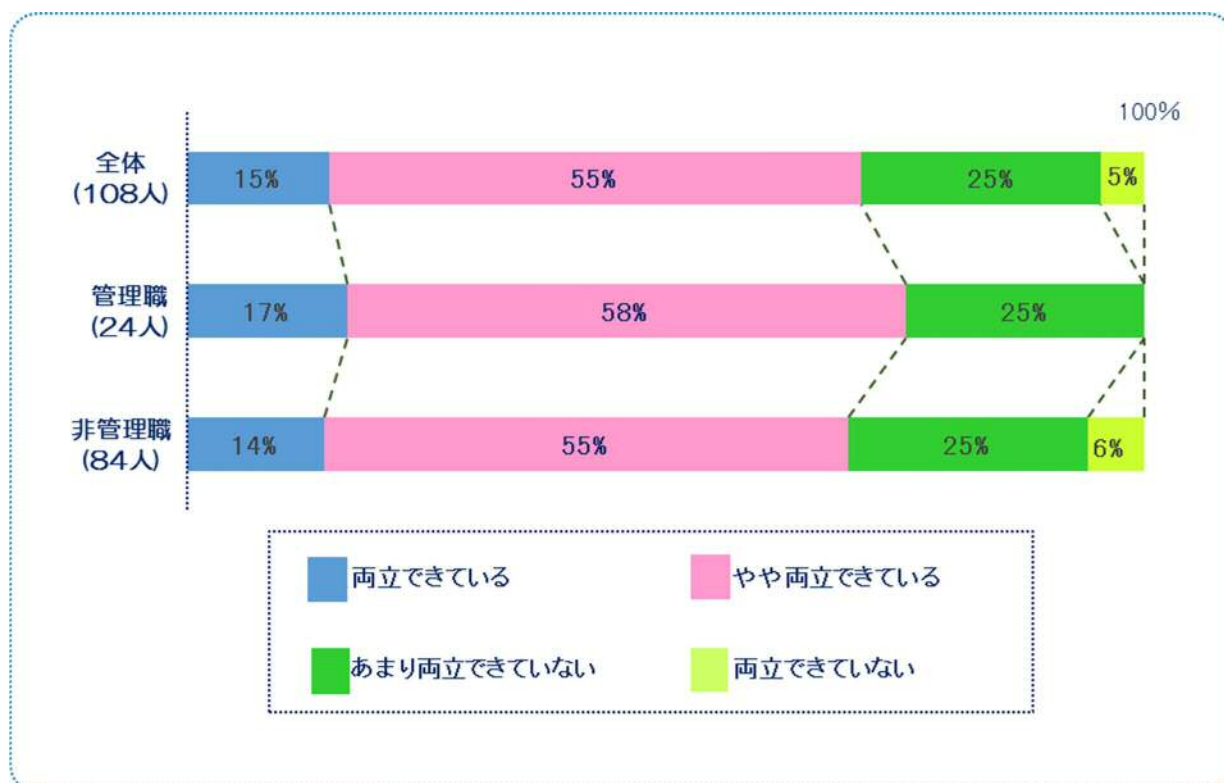
【回答の状況】

- 全体では「自身の体調管理」が1位、2位が「育児との両立」、3位が「介護との両立」となった。
- 管理職では、1位が「介護との両立」2位が「自身の体調管理」、3位は「その他」となった。
- 非管理職では、1位が「育児との両立」2位が「自身の体調管理」、3位が「介護との両立」となった。



### 【設問 14】

(子育て中の職員対象) 今の職場で仕事と育児を両立できていますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

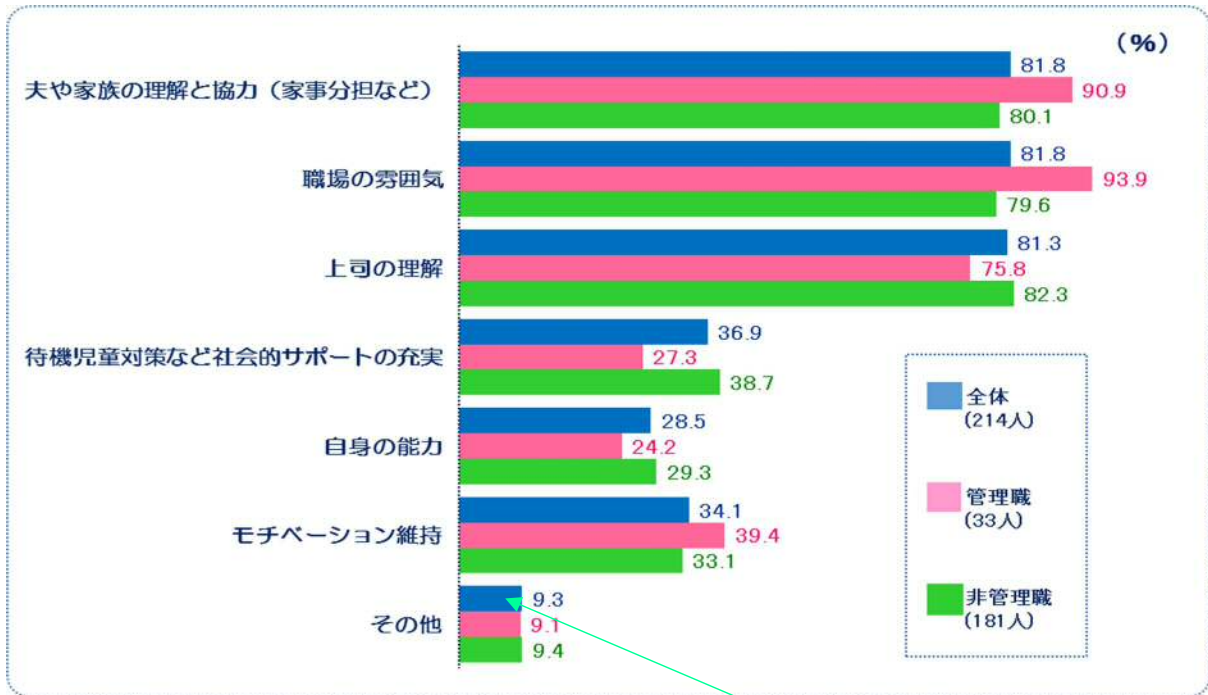


### 【回答の状況】

- 「両立できている」「やや両立できている」の割合は、全体で 70%、管理職が 75%、非管理職が 69%となった。
- 「あまり両立できていない」「両立できていない」の割合は、全体で 30%、非管理職で 31%となった。

【設問 15】

女性が仕事と家庭・育児を両立させるために必要だと思うことは何ですか。 ※複数選択可



【その他 (自由意見) 20 件・主な内容】

- 勤務体系の見直し (フレックス導入など)
- 休日出勤、時間外勤務の解消
- (家庭の事情に対する) 社会の理解、職場の理解
- 課題は女性も男性も同じなのではないか
- 情報交換の場

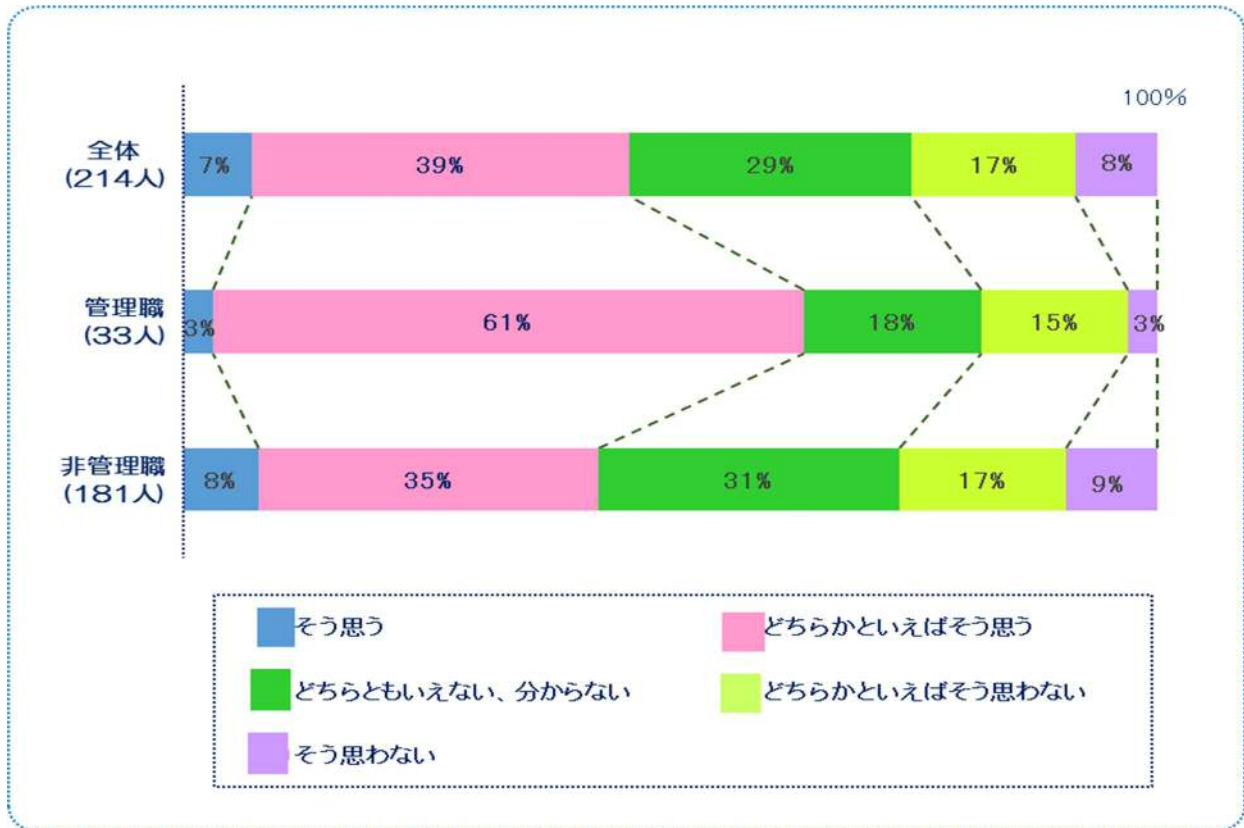
ほか

【回答の状況】

- 上位3項目は「夫や家族の理解と協力 (家事分担など)」「職場の雰囲気」「上司の理解」で、いずれも75%以上となった。
- 非管理職では、「待機児童対策など社会的サポートの充実」が4割近くを占めた。

【設問 16】

市役所では、男性職員が育児に伴う休暇・休業を取得しやすい環境に変わってきていると思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。



【回答の状況】

- 「そう思う」「どちらかとそう思う」を合わせた割合は、全体で 46%、管理職が 64%、非管理職が 43%となった。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、全体で 25%、管理職が 18%、非管理職が 26%となった。